

チャイルドブック活用ガイド

えほんとほいく

7
2021



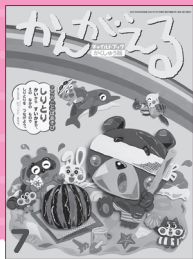
全頁に ポストカード プレゼント!

左記のQRコードからアンケートにお答えいただくと
ポストカード2枚セットをプレゼントいたします!
(応募締め切り 2021年8月31日)

活用のヒントを **動画** で紹介!

総合保育絵本の読み方、使い方の
ポイントをぜひご覧ください。





かながえる

チャイルドブックがくしゅう版

指導／木部秀子
（「はいくえほん」研究会）

わくわく シャカイ クイズ
（1～10ページ）

オリンピックの ひみつクイズ



- 4月号付録の世界の国旗表、または好きな国旗を描いたものを室内に飾ってもよいでしょう。
- がんばったことの他にも、友達に優しくできたことにメダルを贈るなど、みんなを認め合い、ほめ合う雰囲気づくりができるとよいですね。

小学校へ つながる せいかつ
（17～18ページ）

なつの けんこうクイズ

読む
まえに

暑い日の過ごし方を話題にしましょう。



年々夏の暑さが増していますね。暑さから体を守るため外に出るときは帽子をかぶったり、水分をこまめにとったり、汗をかいたら着替えたりすることを生活習慣として身につけてほしいものです。暑い日をどう過ごしているか、子どもたちに問いかけ話し合ってみましょう。

読む
ときに

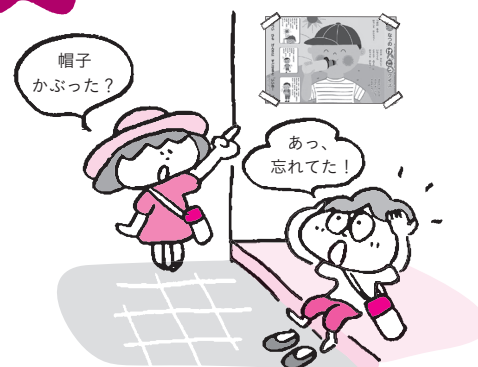
クイズの答えの理由をていねいに確認しましょう。



クイズの答えはわかっていても、どうしてそうする必要があるのかを答えられる子どもは少ないかもしれません。クイズの答えの理由もしっかり伝えましょう。最後に「自分で気づけるとよいね」などと伝え、より一層健康への意識が高まります。

読んで
あとに

絵本のコピーを活用し、暑さへの注意喚起に。



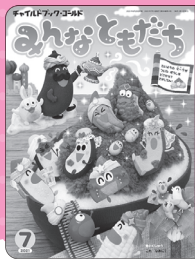
17～18ページを、しかけをめくった状態でコピーして、壁などにポスター代わりに貼ってもよいでしょう。園の玄関など、普段目にしやすい場所に貼っておくことで、自分たちでも熱中症予防を意識できるようになるとよいですね。

▶ チャイルド本社のホームページに「かながえる」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社 検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は16ページへ



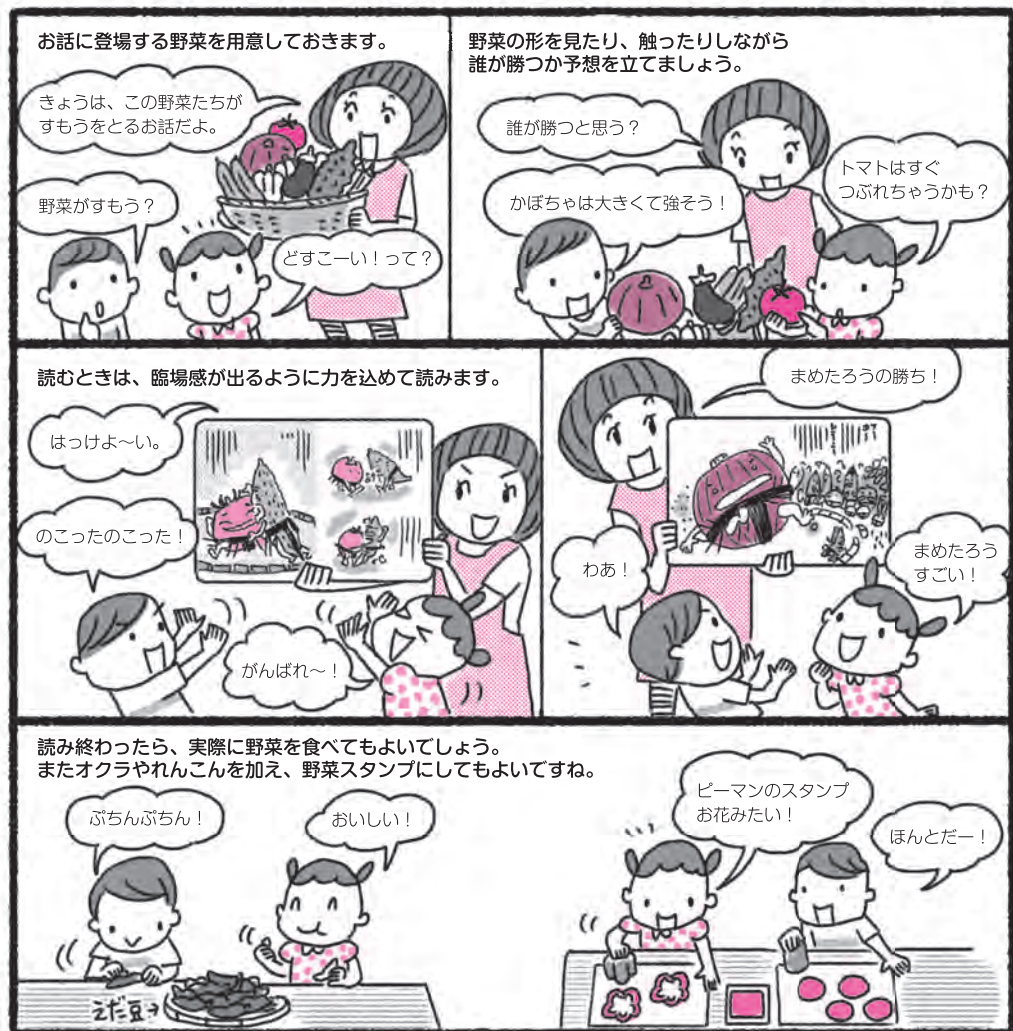
チャイルドブック・ゴールド

みんなともだち

指導／柴宮佑介
(Kids Island うちがしま)

みんなで よもう！
(26～37 ページ)

やさいば'た'けて' はっけよい のこった



● 実際に野菜の重さや形を知ると、お話が実体験と結びつき、より印象に残るかと思います。野菜は、食育コーナーに関連させてカレーに入れて食べてもよいですね。

たべたいな！ しりたいな！ 食育
(22～25 ページ)

たべたいな なつやさいかレー

読む
まえに

表紙の話からつなげましょう。



子どもたちはカレーが大好きですね。想像しただけで、食べたい気持ちが高まってくるかと思えます。表紙を見て「どんなカレーが好き？」「きょうは、中にもカレーが出てくるよ」と伝え、絵本への関心がぐっと高まるでしょう。

読む
ときに

野菜を一つひとつ見ていきましょう。



夏野菜のなかには、好きなもの、苦手なものがあるかと思えます。絵本を見ながら一つひとつの野菜の好き嫌い、栄養について確認していきましょう。苦手な野菜でも、友達が好きと話していたり、栄養を知ったりすることで、食べてみるきっかけになるかもしれません。

読んで
あとに

どんなカレーが食べたいか、考えてみましょう。



夏野菜に限らず、どんなカレーが食べたいか、考えてみましょう。グループで話し合いをしたり、おうちの人と相談してもらったりしてもよいですね。子どもたちのイメージが広がったら、それぞれの“夢のカレー”を絵に描く制作につなげてみましょう。

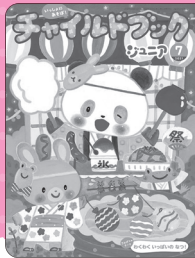
▶ チャイルド本社のホームページに「みんなともだち」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は17ページへ



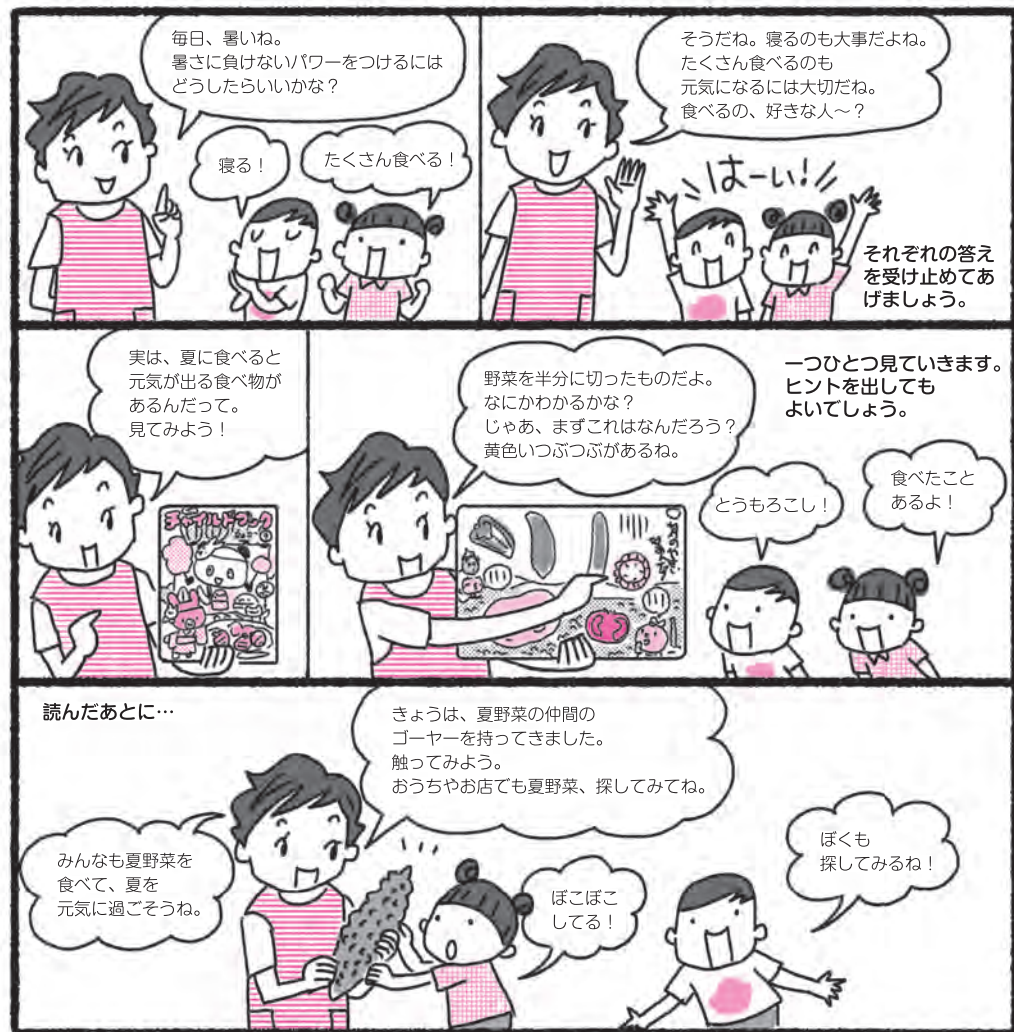
チャイルドブック

ジュニア

指導／水野絵里
（「はいくえん」研究会）

おいしいもの あつまれ！
（2～7ページ）

なつの やさい なあんだ？



あそび・おたのしみ
（14～17ページ）

おまつりごっこで あそんじゃおう！

読む
まえに

絵本から聞こえる音や声で期待を高めましょう。



「みんなはお祭りに行ったことがあるかな？」と尋ねてみます。イメージが膨らむように、子どもたちと話し合ってみましょう。

絵本を開くまえには、「ジュージュー」「いらっしやい。おいしいよ～、楽しいよ～」などの音や声が絵本から聞こえるような演出をし、期待をもって読み進められるようにしましょう。

読む
ときに

お祭りごっこへの興味が高まる声かけを。



「焼きそばは、なにでできているのかな？」などと声をかけ、ごっこ遊びに興味・関心がもてるようにしていきましょう。お祭りごっこで遊んでみたいと思えるよう、子どもたちの意欲を盛り立てていきましょう。

読んだ
あとに

実際にお祭りごっこに展開してもよいでしょう。

実際にお祭りごっこで遊んでもよいでしょう。事前に屋台の食べ物や遊び道具などをみんなで作ったり、紙などで作った財布やお金を用意しておいたりすると、より楽しめますね。お店屋さんとお客さんのグループに分けて、遊びます。ごっこ遊びの約束として、【①みんなで決めたルールを守るようにする。②走らず、危険のないようにする。③遊び終わったら決まった場所（「終わったよ広場」など）で待つ。】などを定めてもよいですね。

▶ チャイルド本社のホームページに「ジュニア」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

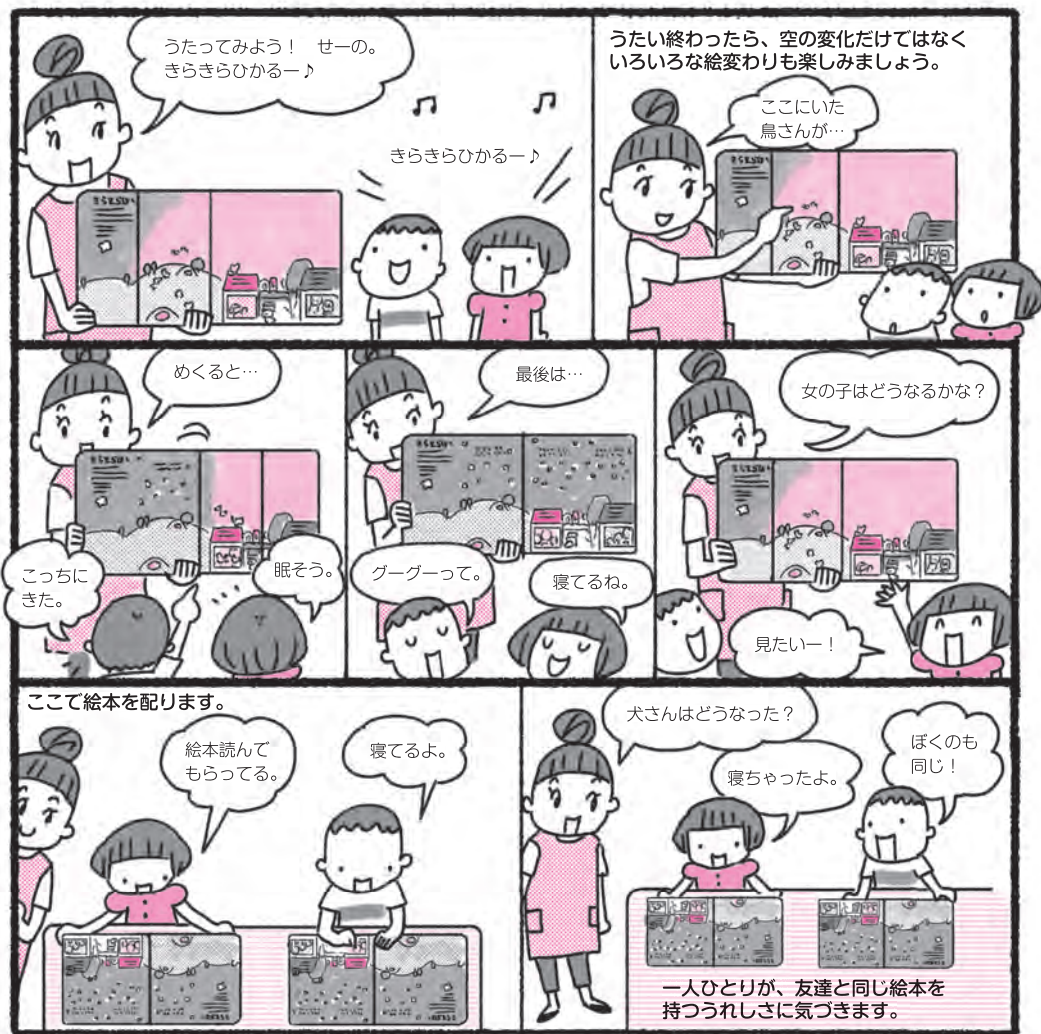
※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は18ページへ



うたの えほん
（2～6ページ）

きらきらぼし



- しかけのページは、まずは先生が最初にとってみせましょう。みんなで「つぎつぎに絵が変化するおもしろさ」を味わってから、子どもたち自身でも楽しめるようにするとよいですね。

おはなし
（18～28 ページ）

おじいちゃんのともし

読んだ
あとに

実際にとうもろこしを用意して、絵本とくらべてみましょう。



本物の皮付きとうもろこしを用意して、みんなで触ってみると楽しいですね。子どもたちは、ざらざらした皮の感触を味わったり、匂いをかいてみたりして、いろいろな発見をするでしょう。絵本と見くらべながら、同じように緑色の皮がついていて黄色いつぶつぶが見えないこと、ひげがあることなどを確認してもよいですね。

読んだ
あとに

むいた皮を並べてみましょう。



実際にとうもろこしの皮をむいてみましょう。子どもたちにむいてもらってもよいですし、先生がみんなの前でむいてもよいですね。むくにしたがって、とうもろこしの粒が透けて見えてきて期待が高まります。最後の一枚がきれいにおける瞬間を楽しみましょう。ぜひ、むいた皮を順に並べてみてください。厚みや色の違いに気づくでしょう。



チャイルド本社のホームページに「ぶう」活用のヒントを動画で紹介しています。

チャイルド本社

検索

※ 表紙のQRコードからもアクセスできます。

指導計画の週案・日案文例は19ページへ

読み聞かせ ワンポイント アドバイス



徳永 満理
(とくなが・まり)

福岡県出身。子どもの発達をふまえていない保育のなかで50年読み聞かせの
実践を重ねる。社会福祉法人おさなご保育園園長を経て、現在は同園の理事長。
元兵庫大学短期大学部専任講師、あかし保育絵本士養成講座講師、兵庫子どもと
絵本の会顧問。著書に『絵本と子どもが会ったら』（鈴木出版）、『絵本でひろ
がる子どものえがお』（高山智津子氏と共著）『よくわかる0～5歳児の絵本読
み聞かせ』（以上、チャイルド本社）、『赤ちゃんにどんな絵本を読もうかな』（か
もがわ出版）、絵本に『はるちゃんのぼんぼりぼうし』（ひさかたチャイルド）、
『ゆうちゃんシリーズ』9冊（アリス館）などがある。



🍎チャイルドブックアップル にんじゃ たこまる・いかまる —しゅりけんを とりもどせ!— 作・絵／タツトミカオ

イメージする力が育ってきた子どもたちは、
「〇〇になあれ!」と声をかけると、そのものにな
りきって遊び始めます。表紙を見ると持ち物や
姿から「たこまる・いかまる」が忍者であることがわ
かると思います。ゆっくり見せて認識させてから
読み始め、子どもたちが忍者の世界に浸れるよう
にしましょう。

手裏剣を盗んだ女忍者あかくらげからの挑戦状
が届くところからお話が始められます。たこまると
いかまるの2人は、手裏剣を取り戻そうとあかくら
げのすみかへ。しかけ場面が、あかくらげとの対
決のハラハラ感とおもしろさをさらに強調してい
ます。強弱をつけ、スピード感を出して読みま
しょう。途中子どもたちは、描かれている生物に

も興味をもち、指をさすかもしれません。そのと
きは、うなずくだけでよいので受け止めてあげま
しょう。

読み終わったら、大好きな忍者ごっこをして遊
んでみるとよいですね。



もこちゃんチャイルド おいしい おかあ 作・絵／やまじひとみ

食べるのが大好きだけど、好き嫌いも出始める
頃です。そんな子どもたちにぜひ読んであげたい
お話です。表紙のレイアウトがおもしろいです。
「みんなのおいしいお顔ってどんなお顔?」と問
いかけてみましょう。「こんなお顔!」と顔を見
せ合いっこしてもよいですね。

おにぎりや梅干しがごろごろりんとやって
きます。横にはからのお皿が1枚。子どもたちの
大好きな「へーんしん!」の言葉を力を込めて読
みましょう。ページをめくると、そこには、「びっ
くりのお顔」。子どもたちにもびっくりのお顔を
促してもよいですね。次は、さくらんぼちゃんと
バナナさんの「にっこりのお顔」。ここでも子ど
もたちになっこりのお顔をしてもらいましょう。



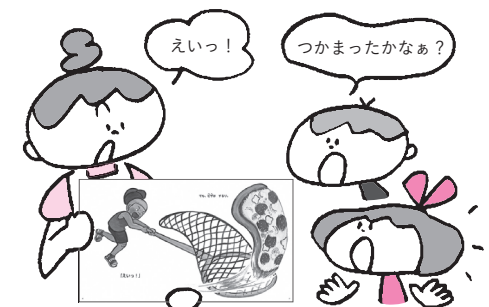
おはなしチャイルド まてまてピザ 作・絵／いのぐち まお

ありえないことをあえて想像しておもしろがる
子どもたち。インパクトのあるタイトルに興味を
引かれることと思います。「ピザ大好き」「食べ
たい!」「どこにいくのかな?」などと、興味津
々のおしゃべりに花が咲くことでしょう。そんな
時間をたっぷり楽しんでから読み始めましょう。

公園で遊んだ帰り道、ひろしとまさおの兄弟は
空を飛んでいるピザを見つけて追いかけます。ど
んどん逃げるピザの勢いに合わせて、テンポア
ップしながら読み進めましょう。ページのめくりは
すばやくしましょう。ピザが逃げ続ける途中、2人
に代わっていろいろな人がいろいろな捕まえ方を
するのがおもしろいです。メリハリをつけて読み
ましょう。最後は2人の投げるボールもかわして、

ピザは宇宙人のもとへ。意外な結末に子どもたち
はきっと満足することでしょう。

読み終わったら、子どもたちの大好きなピザと
宇宙人の話をして、盛り上がりましょう。





おはなしチャイルド リクエストシリーズ

ねずみの かいすいよく

作／山下明生
絵／いわむらかずお

夏真っ盛り。おうちや園のプールで泳いだり、もぐったりするのが大好きな子どもたち。子どもたちといっしょに海に行ったつもりになって、楽しみましょう。

タイトルを読んだあとに、表紙と裏表紙を広げて見せてあげてください。「楽しそう」「泳ぎたい」「7匹いる」など、さまざまなつぶやきが聞こえてきそうです。イメージを広げてから読み始めましょう。最初のページの絵をゆっくり見せて、7匹のねずみそれぞれの特徴に注目しておく、一人ひとりに感情移入しながらお話に入りやすいでしょう。電車に乗り、海に着き、入り江に場所取りをして、仲よし親子の海水浴場面が繊細な絵で展開されます。絵からのメッセージも伝わるよう

に見せてあげましょう。

読み終わったら、もう一度表紙と裏表紙を広げて見せて、余韻を残して終わりましょう。海水浴ごっこをしてもよいですね。



はじめてましのえほん

ぎゅ〜っ ぱあっ!

作・絵／あべえみこ

歩いたり、走ったり、体を自由に動かせるようになり、大人のいろいろな動きをまねて遊ぶようになった子どもたち。動物たちのいきいきした表情が伝わるように、明るく弾むように読んであげましょう。タイトルを勢いをつけて読み、「りすさん、なにしてるのかな?」と問いかけてやりとりしてから読み始めましょう。

最初に登場するのは表紙のりすちゃんです。体を縮めて、「ぎゅっ ぎゅっ ぎゅ〜っ」に力を込めて読みましょう。それからすばやくページをめくり、勢いよく「ぱあっ!」と読みながら手を上に広げて見せてあげましょう。続く動物たちも同じように動作をして見せながら読むとよいでしょう。

読み終わったら、読み手が全身で「ぎゅ〜っ

ぱあっ!」をして見せてあげましょう。子どもたちにも思い思いの「ぎゅ〜っ ぱあっ!」を促し、みんなでまねっこして楽しみましょう。



チャイルドブックアップル 傑作選

ドライブに いこう

作・絵／間瀬なおかた

心も体も解放される夏です。子どもたちにとって、おうちの人や友達とのお出かけは特別なものです。行き先が海や山ならなおさらでしょう。風景の移り変わりがしかけになっているので、まるで本当にドライブしているように臨場感たっぷりです。めくりに緩急をつけて読みましょう。

車のエンジン音でお話が始められます。弾みをつけて読み始め、ページはすばやくめくりましょう。突然のお花畑の風景に開放感がみなぎり、同時に次への期待感が触発されます。早く次のページに進みたいところですが、子どもたちはきっとそこそこに描かれている人や動物、物などに興味を引かれることでしょう。そのときは読むのを一旦止めてじっくり絵を見せてあげてください。特に、

15ページの森の場面はさまざまな動物たちを見つけて盛り上がることでしょう。両開きのしかけ場面も絵をゆっくり見せてあげましょう。

読み終わったら、もう一度それぞれの場面を見返してみると違う発見もできて、楽しいでしょう。



みんなで よもう! 日本の昔話

わかがえりの 水

文／間所ひさこ
絵／若菜 珪

想像力が豊かになった子どもたちにとって、「魔法をかける」や「魔法にかかる」はとても魅力的な言葉のようです。この昔話は子どもたちをそんな世界に誘ってくれるお話です。絵も魅力的です。ユーモアたっぷりに読んであげましょう。

子どもたちにはちょっと理解しにくく、不思議な感じのタイトルです。「若返りってなに?」と問いかけがあるかもしれませんが、受け止めてあげながら読み進めましょう。おじいさんが山で泉の水を飲むと、みるみる若返ります。若者の姿で家に戻ったおじいさんを見て、おばあさんも泉に出かけていくことに。子どもたちは不思議がって、「おもしろい」と身を乗り出してくることでしょう。若返りたいおばあさんが水を飲む場面は特に

おもしろいです。赤ちゃんになってしまった場面では、気持ちを込めながらユーモアを交えて読みましょう。

読み終わったら、若返りとはどんなことだったか話し合ってみてもよいですね。





チャイルドブックを活用するときの週案・日案文例

文例執筆 / 山本秀子（帝京平成大学教授）

かんばん

チャイルドブック・がくしゅう版

日案例

週案例

- ・保育絵本を活用して夏の健康に関心をもつ。
- ・保育絵本のお話を読み、たくさんの言葉に触れる。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
社会 ♥▲♣■ ①⑤⑥⑨	● クイズを楽しみながら、オリンピック・パラリンピックに関心をもつとともに、体を動かす気持ちよさに気づく。 ● 選手ががんばる姿を見て感動を共有する。保育のなかでもがんばった達成感が味わえるような環境を設定し、その姿を見逃さない目をもつ。
数・シール ♣■♠ ⑥⑧⑨⑩	● 条件通りの順番に並べるシール遊びを楽しみながら、順列の考え方を身につける。 ● 順列に従って並んだり、物を並べたりする経験を普段の保育にも取り入れることで理解を深める。また自分で「並べられた」という達成感を味わう。
小学校へ つながる生活 ♥▲♣■♠ ①③⑥⑦⑨⑩	● 夏を健康に過ごすために気をつけることをクイズで確認し、生活のなかで実践できるよう意識する。 ● 同年齢、または異年齢の子に向けて、「夏の健康」について意識を高める環境づくりの工夫（ポスター製作など）を子どもたちと話し合い、実行する。
お話 言葉遊び ■♠ ⑥⑨⑩	● お話を楽しみながらしりとりをすることで、たくさんの言葉に触れ、語彙を増やす。 ● しりとりを通して、同じ頭文字から始まる言葉にさまざまな物があるおもしろさを味わう。
身の回りの なぜなぜ ♣■ ④⑤⑥⑧⑨	● 身の回りのマークの役割について考え、どんな人にとっても便利な工夫について関心を高める。 ● 自分の身の回り、絵本に載っている以外のマークを探し、クラスのなかで発表する。

5領域

- ♥ 健康
- ▲ 人間関係
- ♣ 環境
- 言葉
- ♠ 表現

10の姿

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

チャイルドブック・ゴールド



週案例

- ・保育絵本を活用して旬の夏野菜に興味をもつ。
- ・保育絵本を活用して夏の健康的な過ごし方を考える。

日案例

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
特集 ♥▲♣■ ①⑤⑥⑨	● さまざまな競技の写真をみることで、オリンピック・パラリンピックへの興味を深める。 ● 種目の説明の際には、実際に体感できる工夫をして（例えば子ども9人が並んでみる）、選手のすごさが感じられるようにする。
シール ♣■♠ ⑥⑨⑩	● 笹に短冊や飾りを付けることを楽しみ、七夕の行事への期待を育む。 ● 各動物からイメージする「願いごと」を想像して、クラスで話題にする。
生活 ♥♣■ ①⑦⑨	● 暑い夏に負けず元気に過ごすための方法を、クイズを通して楽しく身につける。 ● 絵本に出てくる「夏の健康」がどのようなときに実行できたかを話題にし、ほめたりクラスで共有したりすることで、より意識を高められるように工夫をする。
食育 ♥♣■ ①⑦⑨	● 夏野菜カレーに入っている野菜を考えることで、旬について知り、食べたい気持ちを高める。 ● カレーの他に夏野菜を食べた経験を友達同士で話し、共有する。
お話 ♣■ ⑥⑦⑨	● 夏野菜たちのすもうを応援したり、どちらが勝つか考えたりしながら、観客になったつもりでお話を楽しむ。 ● 保育のなかで実物に触れ、このお話で知った夏野菜の特徴を感触や視覚で感じる。 ● 夏野菜それぞれの特徴を知り、それが勝敗につながるおもしろさを味わう。

※ここでは、月刊保育絵本を活用した指導計画の週案・日案の文例を提示しています。
あくまでも例ですので、それぞれの園の環境や園児の状況に合わせてお使いください。

文例執筆 / 山本秀子（帝京平成大学教授）

チャイルドブック ジュニア

日案例

週案例

- ・保育絵本を活用して夏の生活の約束を知る。
- ・保育絵本を活用して季節感のあるお話を楽しむ。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
食育 ♥♣■ ①⑦⑨	● 野菜の断面に注目したり、料理を食べるまねっこをしたりすることで、夏が旬の野菜に関心をもつ。 ● トマトやきゅうりなどを実際に触ったり、匂いをかいだり、簡単なクッキングを保育に取り入れたりして、野菜の特徴を五感で感じる。
生活 ♥♣■ ①②⑦⑨	● 熱中症にならないためには、帽子をかぶることや、水分をとることが大切だと確認する。 ● このページで確認した事柄を、子どもたち自らが実践できるような（できたことをほめるなど）言葉かけを保育者が心がける。
あそび・おたのしみ ▲♣■♠ ③⑥⑨⑩	● 自分も工作をしてみたいという気持ちや、お祭り行事への期待を高める。 ● 園全体、もしくは学年単位で「お祭りごっこ」を体験することで、友達との協力や見立てることの楽しさを感じる。
お話 ♣■ ⑦⑨	● お話を通して、身近な虫であるありの世界に入り込み、いっしょにドキドキ感を感じる。 ● ありが自分たちと同じように夏を楽しんでいる様子から親近感を抱き、ありへの興味・関心をもつ。
シール ♣■♠ ⑥⑦⑨⑩	● 誰をどこで遊ばせてあげようか考えながらシールを貼ることで、自分も海で遊んでいるような気持ちになって楽しむ。 ● シールの動物がなにをしているのかを子どもたちと話し、海で遊ぶイメージを広げる。

5領域

- ♥ 健康 ▲ 人間関係
♣ 環境 ■ 言葉 ♠ 表現

10の姿

- ① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性
⑦ 自然との関わり・生命尊重



日案例

週案例

- ・保育絵本を活用し、身近な夏の昆虫に興味をもつ。
- ・保育絵本のとうもろこしのお話を読み、食べる意欲につなげる。

コーナー 5領域・10の姿との関連	ねらい・子どもの活動内容・保育者の援助等
歌 ▲♣■♠ ⑥⑦⑨⑩	● しかけページで絵の変化を発見しながら、うたう楽しさを味わう。 ● セタの行事をきっかけに昼間と夜との空の変化を知る。 ● うたに合わせて、星の表現を友達と楽しむ。
環境 ▲♣■ ⑥⑦⑨⑩	● いろいろなせみの鳴き声や姿を知り、実際の観察につなげる。 ● せみについて知っていることや体験したことを話題にして保育に取り込み、クラスの友達や保育者と共有する。
シール ■♠ ⑥⑨⑩	● ゆかいな形の乗り物に乗った昆虫たちを貼ることで、さまざまな昆虫に興味をもつきっかけにする。 ● 昆虫の形状から子どもたちがさまざまなイメージを広げ、自分が乗っている気持ちになって楽しむ。
生活 ♥♣■♠ ④⑤⑥⑦⑧⑨	● 大人と手をつなぐ大切さを知るとともに、道を指でたどり交通ルールを楽しく覚える。 ● 絵本のなかで約束したことを実際に園外保育などで体験し、実践に役立てる。
お話 ▲♣■♠ ⑦⑨⑩	● とうもろこしがどのようにできるかを知り、興味をもつことで「食べてみたい」という意欲につなげる。 ● 実物のとうもろこしを保育に取り込み、このページで知った事柄を実際に知る環境を作る。 ● とうもろこしをどのような料理で食べるのが好きかを、必要に応じて保育者の援助も受けながら言葉で表現をする。

- ④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え
⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現